

# おおさか元気広場通信

令和元年7月13日

令和元年7月13日、柏原市立国分小学校で行われた「柏原放課後子ども教室☆い・ち・み☆」の活動の様子を見学しました。今回は『いちみ(柏原放課後子ども教室)』の子どもたちだけでなく、近隣の作業所の方や、来年度『いちみ』へ参加しようかと考えている年長のお子さんも体験参加して、みんなでマインドエアロビクスを行いました。

## 「柏原放課後子ども教室☆い・ち・み☆」

柏原市在住で市内の支援学級や近隣の支援学校へ通っている児童・生徒を対象に、居場所づくりとして、月に3~4回、マインドエアロビクスや散髪、水遊び、ボール遊びなど、様々な活動を行っています。

子どもたちは8名在籍し、指導者がほぼマンツーマンのような形で一人ひとりに丁寧にきめ細かく対応していました。

子どもたちは自分らしさを大切に、のびのびと活動することができているようです。そのせいもあってか、私が訪問すると、「名前は?」「どこから来たの?」と積極的にコミュニケーションをとる子がたくさんいました。



## 「マインドエアロビクス」

今回のプログラムは「マインドエアロビクス」です。

マインドエアロビクスとは、音楽に合わせて体を動かすことで、心をリフレッシュするものです。

『いちみ』のマインドエアロビクスは長年同じ先生が、指導しに来られているので、子どもたちも安心して活動しています。



## 「パオパオバルーン」

最後にみんなでパオパオバルーンをしました。これは軽い布のふちをみんなで持って、タイミングよく上下させたり回転させて遊ぶレクリエーションです。友だちとタイミングを合わせて行うので、タイミングの感覚、リズム感、スピード感を養え、友だちとのコミュニケーション能力も育てることになります。みんな楽しそうに遊んでいました。

